

「吸収合併」視野に「1市3町合併促進求める請願」提出さる 県・合併推進議員の策略か！！

犬上3町議会が「合併促進」でまとまったかに
思わせる公政会（彦根市議会の自民党会派）のかけ込み合併策動

1月17日、「是が非でも合併成立を3町議会は結論づけていない」と、日本共産党犬上郡議員団（多賀町・山口久男、豊郷町・今村恵美子、甲良町・西澤伸明）が中島市長・谷口議長に下記の通り申し入れ。

.....
(省略)

今回報道されています「合併を求める請願」の動きに対し心痛め、理解に苦しんでいるところです。各市町の議員は、合併推進・反対とそれぞれ立場は違うと思いますが、中島一市長の「合併断念」表明を重く受け止めたはずで、それは、昨年2月に合併協議会で実施した意向調査で彦根市民をはじめ1市3町の住民が出した結論に従ったからではないでしょうか。

それぞれの議会で「協議会解散」や「合併中止」など、議会の総意として決議された訳でもありませんが、逆に「合併推進決議」が可決したわけでもありません。

ところが、15日付の近江同盟新聞に掲載された彦根市議会公政会・田島茂洋氏の投稿記事によりますと犬上3町の議会代表と会い「前向きな意見をいただいた」と述べていますが、これは全く私的な会合であり、以下のように申し入れるものです。

記

一、3町それぞれの議長だと思いますが、議会を代表して意見を述べたものでもありません。議会の総意は議決によって決することは議会ルールのイロハであり、それは田島氏が一番よくご存じのことと理解します。あたかも、犬上郡3町の議会代表が、議会の総意として「新設であっても、編入であっても、結論を早く出せ」と述べたかのように受け取れる記述をされていることに異を唱えるものです。

一、田島氏が述べておられる「関係3町の代表の議長様」との会合は、あくまで私的な会合に他なりません。議会の承認はありませんでした。それどころか、合併推進議員の一部が参加されているだけです。

一、田島氏の記述にも、また問題の請願書にもある「編入合併」は同合併協議会で確認されていない事項です。1市3町の合併形態の基本をなすもので、問題を含みながらも「新設合併」を大前提に全ての協議が進められてきたことを指摘したいと思います。

一、よって、田島氏が述べているような「編入（吸収）であっても、新設（対等）であっても」合併特例法期限内に是が非でも合併成立を3町議会がそれぞれ結論づけているものでないことを改めてお知らせ申し上げます。